

市街地整備促進特別委員会資料

案件 1 阪急高槻市駅南地区市街地整備について

案件 2 J R 高槻駅北東地区市街地整備について

平成 19 年 6 月 12 日

【 都市産業部 】

【 市長公室 】

案件2 JR高槻駅北東地区市街地整備について

目次

- 1 主な経過
- 2 プロジェクト事業者の概要
- 3 都市開発事業計画案
- 4 市の調整・検討事項
- 5 今後の主な予定

【参考資料(別冊)】

- 1 (株)西武百貨店から市街地再開発事業断念に係るお詫び文書
- 2 市街地再開発協議会から市街地再開発断念の報告文書
- 3 JR高槻駅北東地区開発事業まちづくり協議会発足に係る報告文書
- 4 事業計画変更素案(当初案との比較資料)
- 5 大学立地に係る先進的な取組についての調査結果

1 主な経過

| 年 月 日 | 主 な 経 過 |
|------------------|--|
| 平成 16 年 5 月 12 日 | 都市再生緊急整備地域の指定 |
| ” 7 月 16 日 | JR 高槻駅北東土地区画整理組合設立準備会(以下「準備会」)が発足 |
| 平成 18 年 2 月 14 日 | 準備会が市に「区画整理・再開発一体的施行案」と「区画整理単独案」の検討案を提出 |
| ” 2 月 24 日 | 市街地整備促進特別委員会 |
| ” 3 月 14 日 | 準備会が両案の変更案を市に提出 |
| ” 4 月 25 日 | 市街地整備促進特別委員会 |
| ” 6 月 1 日 | JR 高槻駅北東地区市街地再開発協議会(以下「協議会」)が発足 |
| ” 6 月 8 日 | 準備会・協議会が連名で、一体的施行の事業計画案を市に提出 |
| ” 6 月 9 日 | 市街地整備促進特別委員会 |
| ” 6 月 12 日 | 準備会が市条例に基づく環境影響評価手続きに着手 |
| ” 11 月 28 日 | 方法意見書を公告・縦覧 |
| 平成 19 年 2 月 9 日 | (株)西武百貨店が市・協議会に対し、再開発断念を申し入れ |
| ” 2 月 13 日 | 協議会が市に状況を報告 |
| ” 2 月 15 日 | 市が市議会や国、府に状況を報告 |
| ” 2 月 16 日 | 準備会が総会を開催(区画整理単独で取り組むことを決議) |
| ” 2 月 28 日 | (株)ユアサ開発が工場跡地の一部(白梅地区)を阪急不動産(株)に売却 |
| ” 3 月 2 日 | 協議会が解散 |
| ” 3 月 6 日 | JR 高槻駅北東地区開発事業まちづくり協議会 (以下「まちづくり協議会」)が発足 |
| ” 4 月 23 日 | 準備会が協議用の事業計画変更素案を市に提出 |
| ” 4 月 24 日 | 庁内検討会議 |
| ” 5 月 10 日 | 大阪府との合同会議 |
| ” 5 月 15 日 | 庁内検討会議 |
| ” 5 月 22 日 | 阪急不動産(株)が市に白梅地区の土壌汚染浄化対策計画書を提出 (工事期間：平成 19 年 6 月～平成 21 年 6 月) |
| ” 5 月 24 日 | 大阪府との合同会議 |
| ” 5 月 29 日 | 庁内検討会議 |
| ” 5 月 29 日 | 準備会・まちづくり協議会が事業計画案を市に提出 |

2 プロジェクト事業者の概要

準備会

- 1 名称 JR 高槻駅北東土地区画整理組合設立準備会
- 2 発足日 平成 16 年 7 月 16 日
- 3 会長 原 道郎 氏
(株式会社ジーエス・ユアサインターナショナル
代表取締役副社長／高槻開発推進本部長)
- 4 会員 区域内の土地所有者及び借地権者で構成

役割

土地区画整理事業による道路、公園等の都市基盤整備と宅地の造成

民間開発事業者

- 1 事業者 阪急不動産株式会社
特別・特定医療法人愛仁会
学校法人関西大学
株式会社西武百貨店

役割

区画整理事業によって造成された宅地に、施設建築物等を整備

まちづくり協議会

- 1 名称 JR 高槻駅北東地区開発事業まちづくり協議会
- 2 発足日 平成 19 年 3 月 6 日
- 3 会長 簗原 克彦 氏
(阪急不動産株式会社 代表取締役社長)
- 4 会員 阪急不動産株式会社
特別・特定医療法人愛仁会
学校法人関西大学
株式会社西武百貨店
JR 高槻駅北東土地区画整理組合設立準備会

役割

駅前に相応しい統一感のあるまちづくりを目指して地区計画に係るまちづくりガイドライン等を策定

- 都市インフラや都市機能の再構築
- 中心市街地としての計画的な土地利用
- 都市環境・教育施設・防災機能の充実

統一感のある美しい都市環境や都市機能の充実を図り、多くの人々が訪れ、暮らし、住み続けたいような持続可能な魅力あるまちづくりを目指す。